

山田幸廣さん 関東管区局長連名表彰受賞

9月14日、埼玉会館において、優良運転者関東管区局長連名表彰式が行われ、山田幸廣さん（大内沢）が優良運転者関東管区局長連名表彰を受賞されました。山田さんは、32年もの長きにわたって小川地方交通安全協会東秩父支部役員として交通安全活動に積極的に携わり、交通事故防止などに貢献されたことが認められ、今回の受賞となりました。また、関根正明さん（御堂）が交通荣誉賞「緑十字銅章」、若林由規さん（御堂）が警察本部長・県交通安全協会会長連名表彰を受賞されました。



野口クラさん 100歳を迎えられました

100歳を迎えられた坂本地区の野口クラさんに、ご長寿のお祝いと、多年にわたり社会の発展に寄与してこられたことに感謝の意をこめて、内閣総理大臣から祝状と記念品が贈られました。

9月19日に足立村長から伝達され、東秩父村社会福祉協議会から記念品が贈呈されました。

野口さんのご家族は、「今は入院していますが、元気だった頃は無人販売へ野菜を出したりしていました。自宅で家族そろって100歳のお祝いを出来なかったことは残念ですが、これからも温かく見守っていききたいと思います。」と話しておられました。
野口さん、おめでとうございます。



『健康づくり講演会』を開催しました

9月30日、保健センターにおいて「健康づくり講演会」が開催され、村内外から約50名の方が参加しました。講師に小川町の小林内科医院院長・小林竜也先生（腎臓専門医）をお迎えし、「知らないうちにいたむ腎臓（慢性腎臓病（CKD）について）」という演題で講演していただき、講演の後には活発な質疑応答も交わされました。講演の概要は次のとおりです。

【腎臓の働きについて】

腎臓は非常に精密にできている。尿生成、老廃物排出、造血、ホルモンなどを出して各臓器に指示を出している。だから、腎臓が悪くなると貧血が進行したり、骨がもろくなる。健診で異常値が出ても、性別・体の大きさ・過去の既往・経過によって放置してよいか治療が必要かどうかの判断が分かれる。たんぱく尿、血尿などの尿の異常は、程度により疑う疾患が異なる。80歳になると腎臓の機能は20歳の時の約半分程度になり、加齢で各臓器の機能も低下する。

【腎臓をいためる原因について】

腎臓に負荷をかけるものとしては、高血圧・糖尿病・高脂血症・肥満・膠原病・尿管結石・感冒薬・鎮痛剤・喫煙などがある。腎臓が悪くなる要因は、メジャーな疾患である脳梗塞、脳出血、心筋梗塞、狭心症と同じではないかという観点から、5〜6年前から慢性腎臓病が注目されるようになった。腎臓が悪くなると心臓や脳の病気を誘発、または悪化する。よって、腎臓の病気をコントロールできれば、心臓や脳の疾患も予防、軽減できる。どんな病気も過食から誘

発されると言える。腎臓疾患に対しても、薬よりもまずは食事内容の見直しが有効である。長期の暴飲暴食、ドカ食いは腎臓に負担が大きく、たんぱく尿を誘発する。また、心臓・腎臓・肝臓は関連性があり、腎不全により多臓器不全を発症することもあり。特に糖尿病は全身の血管を傷めるので、糖尿病をコントロールすることは腎臓疾患を含めた他の疾患の発症予防に有用である。

【最後に】

埼玉県は人口当たりの医師が少なく、腎臓専門医となるとさらに少ない。現状をふまえ、この地域に少しでも貢献できればと考えている。疑問や質問があればご相談いただきたい。

こどもへのインフルエンザ 予防接種を補助します

村では、11月（10月に接種したものを含む。）から平成24年10月1日現在において、生後6か月以上義務教育修了までの方を対象としたインフルエンザ予防接種の補助を行います。こどものインフルエンザ感染予防と保護者の経済的負担軽減を目的としています。1回の接種につき、3,000円を同一年度内に2回まで補助します（ただし1回あたりの接種金額が3,000円未満の場合はその額とします）。

接種後、村の補助金交付申請書に領収書（インフルエンザ予防接種の名称・接種日・接種者名が必ず記載された領収書）を添付して、住民福祉課または保健センターに提出してください。対象者には申請書等を郵送済です。

問合せ 住民福祉課 ☎82-1221